

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	無	応募総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ げきだんとうきょうげいじゅつぎ 有限会社 劇団東京芸術座	団体ウェブサイトURL http://www.tokyogejutsuza.co.jp/	
代表者職・氏名	取締役社長 北原章彦		
制作団体所在地	〒 177-0042	最寄り駅(バス停)	西武新宿線/上井草駅
	東京都練馬区下石神井4-19-11		
電話番号	03-3997-4341		
ふりがな 公演団体名	げきだんとうきょうげいじゅつぎ 劇団東京芸術座	団体ウェブサイトURL http://www.tokyogejutsuza.co.jp/	
代表者職・氏名	劇団代表 崎田和子		
公演団体所在地	〒 177-0042	最寄り駅(バス停)	西武新宿線/上井草駅
	東京都練馬区下石神井4-19-11		
制作団体 設立年月	1964年2月(登記年月日)		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	劇団代表 / 崎田和子 取締役社長 / 北原章彦 制作部長 / 嶋田みどり 常任幹事 / 鈴木健一朗	構成員数/60名(演出部/演技部/制作部) 演劇養成機関卒業生を対象に入団審査を実施。 また、未経験者を対象とした「実習生」を通年で募集しています。	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	北原章彦 鈴木健一朗
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	筒井正彦
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	ken1lohszk@gmail.com		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>劇団東京芸術座は、1959年に新協劇団(代表/村山知義)と中央芸術劇場(代表/薄田研二)が合同し結成され、同年4月、村山知義/作・演出「終末の刻(とき)」(主演/薄田研二)公演で旗揚げして以降、東京公演全154作品を上演し、本年2月で創立65年を迎えました。 創立翌年の1960年からは、主に全国の中・高等学校を対象とする芸術鑑賞教室を開始し、教育現場における文化芸術鑑賞の普及・発展に貢献してきました。同時に、全国の市民劇場・演劇鑑賞会や子ども劇場の活動とも連携し、数多くの巡演を重ねています。</p> <p>【近年における上演実績】</p> <table border="0"> <tr> <td>H21年度</td> <td>「本物の舞台芸術体験事業」</td> <td>【Challeng-ed-遠い水の記憶-】</td> </tr> <tr> <td>H23～25年度</td> <td>「次代を担う子供の文化芸術体験事業」</td> <td>【赤ひげ】</td> </tr> <tr> <td>H26～29年度</td> <td>「文化芸術による子供の育成事業」</td> <td>【夏の庭-The Friends-】</td> </tr> <tr> <td>R1～R3年度</td> <td>「文化芸術による子供育成総合事業」</td> <td>【Challeng-ed-遠い水の記憶-】</td> </tr> <tr> <td>R2年度補正</td> <td>「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」</td> <td>【未来】(プログラム選択型)</td> </tr> <tr> <td>R3年度補正</td> <td>「子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業」</td> <td>【未来】(プログラム選択型)</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>【12人の怒れる男たち】(学校選択型)</td> </tr> <tr> <td>R4年度</td> <td>「文化芸術による子供育成推進事業」</td> <td>【パンプキン!-模擬原爆の夏-】</td> </tr> <tr> <td>R5年度</td> <td>〃</td> <td>【パンプキン!-模擬原爆の夏-】</td> </tr> </table>		H21年度	「本物の舞台芸術体験事業」	【Challeng-ed-遠い水の記憶-】	H23～25年度	「次代を担う子供の文化芸術体験事業」	【赤ひげ】	H26～29年度	「文化芸術による子供の育成事業」	【夏の庭-The Friends-】	R1～R3年度	「文化芸術による子供育成総合事業」	【Challeng-ed-遠い水の記憶-】	R2年度補正	「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」	【未来】(プログラム選択型)	R3年度補正	「子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業」	【未来】(プログラム選択型)	〃	〃	【12人の怒れる男たち】(学校選択型)	R4年度	「文化芸術による子供育成推進事業」	【パンプキン!-模擬原爆の夏-】	R5年度	〃	【パンプキン!-模擬原爆の夏-】						
H21年度	「本物の舞台芸術体験事業」	【Challeng-ed-遠い水の記憶-】																																	
H23～25年度	「次代を担う子供の文化芸術体験事業」	【赤ひげ】																																	
H26～29年度	「文化芸術による子供の育成事業」	【夏の庭-The Friends-】																																	
R1～R3年度	「文化芸術による子供育成総合事業」	【Challeng-ed-遠い水の記憶-】																																	
R2年度補正	「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」	【未来】(プログラム選択型)																																	
R3年度補正	「子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業」	【未来】(プログラム選択型)																																	
〃	〃	【12人の怒れる男たち】(学校選択型)																																	
R4年度	「文化芸術による子供育成推進事業」	【パンプキン!-模擬原爆の夏-】																																	
R5年度	〃	【パンプキン!-模擬原爆の夏-】																																	
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>1960年から情操教育の一助となる演劇を全国の中・高校生に届ける「名作劇場」公演を開始。65年間で38演目を巡演(※下に記載)、上演回数は業界上位の実績です。</p> <p>1960～ うぬぼれ兎 狐山伏 守銭奴 イワンの馬鹿 結婚 初恋 スカパンの悪たくみ 検察官</p> <p>1970～ はだしの貴族 どん底 レ・ミゼラブル 小麦色の仲間たち ヴェニスの商人 蟹工船 ベートーヴェン 銀河鉄道の恋人たち 回転軸 あゝ野麦峠 翼は心につけて</p> <p>1981～ 赤ひげ 勲章の川 私のアンネフランク ふおん・しいほとどの娘 にんじん 12人の怒れる男たち 野望の系譜 冒険者たち ウメコがふたり</p> <p>1995～ あわて幕やぶけ芝居 子供の時間 あの日は プラボーフェール先生 NewsNews 夏の庭 稲の旋律</p> <p>2006～ GO 風が吹くとき はつかねずみと人間 赤ひげ おれはなにわのライオンや 夏の庭 12人の怒れる男たち</p> <p>2016～ Challeng-ed 未来 12人の怒れる男たち</p> <p>2021～ パンプキン! 医者の子</p> <p>2023年度 巡演3作品(実績) 小学校/12公演 中学校/4公演 高校/49公演 2024年度 巡演3作品(決定数) 小学校/1公演 中学校/2公演 高校/48公演</p>																																		
<p>特別支援学校等における 公演実績</p>	<table border="0"> <tr> <td>2009</td> <td>山形盲学校・山形聾学校</td> <td>「12人の怒れる男たち」</td> </tr> <tr> <td>2010</td> <td>長浜養護学校(滋賀県)</td> <td>「12人の怒れる男たち」</td> </tr> <tr> <td></td> <td>長浜北星高等養護学校(滋賀県)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>帯広盲学校(北海道)</td> <td>「夏の庭」 (H28 子供の育成事業)</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>甲南高等養護学校(滋賀県)</td> <td>「Challeng-ed-遠い水の記憶-」</td> </tr> <tr> <td></td> <td>三雲養護学校石部分教室(滋賀県)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>2019</td> <td>長浜北星高等養護学校(滋賀県)</td> <td>「Challeng-ed-遠い水の記憶-」</td> </tr> <tr> <td></td> <td>長浜養護学校(滋賀県)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>2021</td> <td>山梨県立高等支援学校桃花台学園</td> <td>「未来」 (R2補正 体験支援事業)</td> </tr> <tr> <td>2022</td> <td>函館高等支援学校</td> <td>「未来」 (R3補正 体験再興事業)</td> </tr> <tr> <td>2023</td> <td>宇都宮大学共同教育学部附属特別支援学校</td> <td>「パンプキン-模擬原爆の夏-」 (R5 子供育成推進事業)</td> </tr> </table>		2009	山形盲学校・山形聾学校	「12人の怒れる男たち」	2010	長浜養護学校(滋賀県)	「12人の怒れる男たち」		長浜北星高等養護学校(滋賀県)	〃	2016	帯広盲学校(北海道)	「夏の庭」 (H28 子供の育成事業)	2018	甲南高等養護学校(滋賀県)	「Challeng-ed-遠い水の記憶-」		三雲養護学校石部分教室(滋賀県)	〃	2019	長浜北星高等養護学校(滋賀県)	「Challeng-ed-遠い水の記憶-」		長浜養護学校(滋賀県)	〃	2021	山梨県立高等支援学校桃花台学園	「未来」 (R2補正 体験支援事業)	2022	函館高等支援学校	「未来」 (R3補正 体験再興事業)	2023	宇都宮大学共同教育学部附属特別支援学校	「パンプキン-模擬原爆の夏-」 (R5 子供育成推進事業)
2009	山形盲学校・山形聾学校	「12人の怒れる男たち」																																	
2010	長浜養護学校(滋賀県)	「12人の怒れる男たち」																																	
	長浜北星高等養護学校(滋賀県)	〃																																	
2016	帯広盲学校(北海道)	「夏の庭」 (H28 子供の育成事業)																																	
2018	甲南高等養護学校(滋賀県)	「Challeng-ed-遠い水の記憶-」																																	
	三雲養護学校石部分教室(滋賀県)	〃																																	
2019	長浜北星高等養護学校(滋賀県)	「Challeng-ed-遠い水の記憶-」																																	
	長浜養護学校(滋賀県)	〃																																	
2021	山梨県立高等支援学校桃花台学園	「未来」 (R2補正 体験支援事業)																																	
2022	函館高等支援学校	「未来」 (R3補正 体験再興事業)																																	
2023	宇都宮大学共同教育学部附属特別支援学校	「パンプキン-模擬原爆の夏-」 (R5 子供育成推進事業)																																	
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>																																	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://www.youtube.com/watch?v=Q9koaS5MKHI&t=61s</p>																																	
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td>ID:</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td>なし</td> </tr> </table>	ID:	なし	PW:	なし																													
ID:	なし																																		
PW:	なし																																		

別添	なし
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 劇団東京芸術座】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	「パンプキン」って、なに？			
企画のねらい	小学生の思考を通して、原爆を知り戦争を知る。そして考えます。 原作の児童文学を演劇で立体化することによって、より楽しみながら理解を深め世界では今も戦争が続いていること、それは遠い昔のことではないことを一緒に考えます。			
演目概要・演目選択理由	<p><あらすじ> あたしの苦手なとこ、たくみがやっけて来た。いつもノートパソコンとにらめっこして、あたしのことを小ばかにするイヤミな男の子だ。駅に迎えに行ったのに。なんだっけ？そう、モギゲンバクの慰霊碑を勝手に見に行っちゃった。 「え？モギゲンバクって原子爆弾を落とすための練習用の爆弾なの？」 「え？全然知らなかったよ。モギゲンバクでこの町の人が死んだってこと？戦争なんて遠くの世界で起きた昔のことだと思ってた。」 模擬原爆で多くの人が犠牲になったことに憤るヒロカ。でも調べていくうちに、原爆の研究開発は戦前の日本でも行われていたこと、原爆の被害者は日本人だけじゃなかったこと、日本の戦争加害など多くの事実と直面し、どう考えていいかわからなくなってしまう。</p> <p>【児童・生徒の皆さんに広く親しまれている青い鳥文庫を舞台化】 令丈ヒロ子さんの代表作【若おかみは小学生！】シリーズは累計300万部のベストセラーとなり、漫画・TV・劇場版アニメなどで多くの児童生徒の皆さんに親しまれています。【「パンプキン！-模擬原爆の夏-」】は2011年に刊行後、2019年には青い鳥文庫版でも出版され、広く長く多くの人に親しまれています。読書後の観劇・舞台参加と連動した企画としてご提案します。</p> <p>【知ることの大切さと平和の尊さ】 この作品は実体験をもとにした児童書です。作者の令丈さんは、地元大阪で偶然「模擬原爆慰霊碑」(大阪府田辺市)を見つけます。太平洋戦争末期、アメリカ軍は日本への原爆投下を成功させるため、練習用爆弾(長崎に投下された原爆ファットマンと同形状・同重量)を製造し全国49ヶ所に投下。それにより400名以上の人が犠牲になりました。 「知ってしまった以上、知らなかったことにはできない。日本中が知った方がいい。特に子どもたちに知ってほしい」 作者は子どもたちにより身近に感じてもらえるよう、小学5年の女の子を主人公に、同じ年の「いとこ」とおじいちゃんの力を借りながら、夏休みの自由研究【模擬原爆(パンプキン爆弾)】に取り組んで行く物語を書きました。 主人公ヒロカは知らなかったことだから知りたい！探求心を大きく膨らませることで成長していきます。ヒロカにとって、(世界の)現実世界になるまであきらめたらあかんのや！」と決意しますー。 是非、皆さんと「知ることの大切さ」と「平和の尊さ」を深く共感したいと思っています。</p>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	<p>1)全体コミュニケーションワークを実施 2)「パンプキン体操」(出演者/3名～5名)ラジオ体操のパンプキンバージョンです。 3)「地下鉄田辺駅前・どちらにお出かけ？」(出演者/3名～5名)駅の改札前、みんなで台詞を創作します。 4)「ヒロカと歌って踊ってタクミを捜索！」(出演者/3名～5名)ヒップホップ調のオリジナルダンスです。 *ワークショップ参加者はそれぞれのプログラムで劇団員との交流を深めます。 1)の本公演観劇のみの児童・生徒の皆さんも劇中歌「バケツのおひさんつかまえた」(アニメじゃり子チエEDテーマ曲)を客席で一緒に歌っていただきます(※感染防止対策の為NGの場合もあり)。</p>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	3～15名	
		鑑賞人数目安	10～700名程度	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>「パンプキン！-模擬原爆の夏-」(講談社/青い鳥文庫所収) 原作 令丈ヒロ子 脚色/演出 北原章彦 美術 幡野寛 照明 関定己 音楽 永橋京子 音響 馬上真勝 振付 酒井麻也子 方言指導 前田剛志</p> <p style="text-align: right;">公演時間 75 分</p>			
出演者	<p><仲井ヒロカ(小5)>/今井香澄 <母>/樋川人美 <父>/梁瀬龍洋 <おじいちゃん>/手塚政雄 <木南たくみ(小5)>/大橋純子 <駅員>/中屋力樹</p>			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程/名	<p><おじいちゃん役>/手塚正雄 1979年入団芸歴45年。<母役>樋川人美/1982年入団芸歴41年 ともに中心俳優として活躍を続けています。<脚本/演出>を担当する北原章彦は1983年入団、2024年度「医者の子」「戻り道を探して」「未来」「パンプキン！模擬原爆の夏」の4作品の創造を担当しています。</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 6 名 スタッフ: 6 名 合計: 12 名	運搬	積載量: 4 t 車長: 8.5 m 台数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み		無		前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出	
	8:00	8:00~12:30		13:30~14:45	0	15:00~16:30	17時00分	
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。								
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月		7月		8月		9月	
	0日		0日		0日		10日	
	10月		11月		12月		1月	
	14日		18日		20日		14日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		76日	
公演に係るビジュアル イメージ (舞台の規模や演出が わかる写真) ※採択決定後、図 面等の提出をお願い します。								
								
								
著作権、上演権利等 の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否		該当あり		該当コンテンツ名		原作使用料	
	該当事項がある 場合	権利者名	株式会社講談社		許諾確認状況	使用(上演)許諾取付済		

別添	なし
----	----

【公演団体名 劇団東京芸術座】

ワークショップのねらい	<p>① 人前に出て表現する際の緊張や失敗することへの恐怖心などを、一人ひとりが自覚し認め合うことにより、お互いの信頼関係を構築していくことが実施の重要なポイントです。目標に向かう過程で発揮されるポジティブな発想力・行動力・コミュニケーション力・それぞれの表現などを最大限に引き出す努力を行います。各々の持っている個性に自信を持つことが目的です。</p> <p>* 今回のプログラムは体操・ダンスの振付の正確さ以上に、楽しく身体を動かすことを重点に考えています。もう一つのプログラムは言葉を重点に創作する楽しさを考えます。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	3～15名 ※ 全体ワークは、1学年50名程度迄
ワークショップ実施形態及び内容	<p>【前半のウォームアップシアターゲーム + 後半の各シーン創造】</p> <p>① 全員で簡単なゲームを行い緊張をほぐし、コミュニケーションを取り易い雰囲気を作ります。</p> <p>② 各シーンに分かれワークショップを実施。シーンごとに児童生徒の皆さんが独自のアイデアを加えながら、全員が積極的に一つの場면을創り上げていきます。</p> <p>③ 創り上げたそれぞれの場面を全員で振り返ります。出来栄えはもちろん、表現したことが観客にちゃんと伝わっているか？など、本番までにより良くなる方法を全員で考えます。</p> <p>【具体的な実施内容】</p> <p>【シーンA】「パンプキン体操」（出演者／3名～5名応相談）</p> <p>① 参加する児童・生徒の皆さんが三々五々広場に集まってきます。 ② ラジオ体操が始まる前の友だち同士の会話を考えます。 ③ 6:30分、ラジオ体操の音楽が流れてきます。各学校オリジナルのラジオ体操を創作します。</p> <p>【シーンB】「地下鉄田辺駅前、どちらにお出かけ？」（出演者／3名～5名応相談）</p> <p>① 地下鉄の改札には顔見知りの駅員さんが立っています。児童生徒の皆さんは、それぞれが出かける設定で改札前に待ち合わせしています。遅れてくる子、お出かけ先の話で盛り上がる人、状況設定を考えて楽しい会話を創作します。 ② 最後に改札を通過してお出かけです。</p> <p>【シーンC】「ヒロカと歌って踊ってタクミを捜索！」（出演者／3名～5名応相談）</p> <p>① 参加する一人ひとりが主人公ヒロカになりきって、大きな声でタクミを捜索しています。 ② 全員が舞台にそろったら「バケツのおひさんつかまえた」（アニメじゃりん子チエEDテーマ曲）を踊ります。歌の1番はヒロカが踊り、2番の振付は皆さんで創作します。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>特別支援校での実施に関して</p> <p>○台本・公演DVDの事前配布により、作品への興味を引き立てます。 ○先生方との事前打ち合わせを重視します。実情にそったカリキュラムを作成します。 ○上演前にバックステージツアーを実施し、安全面に配慮します。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名

劇団東京芸術座

】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>舞台芸術は古くから人々の暮らしに根付き、様々なメディアコンテンツが発達した現在においても青少年の感性や教養を育成する重要な一要素です。 また、限られた時間と場所を俳優と観客が共有することで成立する演劇は、毎回違った感動を生み出すことができる一期一会の瞬間芸術です。 劇団東京芸術座では創立の翌年(1960年)から、優れた舞台芸術を全国の青少年に届ける巡演活動を一貫して行っています。 「舞台芸術等総合支援事業」は、さまざまな事情により実施が叶わなかった鑑賞機会を、多くの児童、生徒の皆さんに届られるのに加え、観客を前に舞台上で演じるという体験をプロの俳優と共有することで、創造する喜びや文化芸術に対する熱情を育むための貴重な経験となるはずです。 次世代を担う皆さんと豊かな文化を育てる本事業の継続と発展のために、私たちの持てる力を最大限に発揮して臨みます。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p><事前ワークショップに関して></p> <p>実施前に学校側との意思疎通を充分に図ることが大切だと考えています。 今回の巡回公演に申請された学校側の意向を把握し、目標とする成果を具体的に検討します。 事前ワークショップでは、参加者一人一人の台詞や動きを、まず自分たちで考えて貰うことにより出演者としての自覚を促し、本公演に向けた期待や演劇の持つすばらしさを体感して貰います。 またワークショップ参加者(劇団側も含む)は、互いに名前呼び合うことで、本公演を迎える緊張を共に感じ、一体感をもって本公演に向かいます。</p> <p><上演当日に関して></p> <p>ワークショップ実施から本公演当日までの練習成果を確認する為、上演前に実際の舞台装置を使用した各シーンのリハーサルを行います。 また、上演中は出演する児童生徒さんもお芝居を鑑賞できるよう、出演シーンが近づきましたら劇団側の誘導のもとスタンバイしていただくよう配慮しています。 出演する児童生徒さんが最後まで怪我なく練習成果を存分に発揮できるよう、経験に基づいた安全対策、誘導員の配置、指導を徹底します。</p> <p><上演後の取り組み></p> <p>ご要望により、出演者との座談会を設けるなど、可能な限り児童、生徒さんとの交流を計ります。出演された児童、生徒の皆さんに劇団からメッセージを送り、「出演してみたの感想や劇団へのご要望」を送って頂きます。</p>
--	---